



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.82
2017年 5月号

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

作付け準備開始!!

皆さんこんにちは。SAJFarmでは例年より早く雨季が訪れました。1年の中で一番暑くなる5月ですが、今年は雨が多く、雲が太陽の日差しを遮ってくれるため、去年よりとても過ごしやすいです。農場の周りでは雨季が早まったため田植えの準備をもう始めている農家さんもいます。今月は農場の作付け準備を行う様子と講習会の様子を報告したいと思います。



セルトレーにオクラの種を蒔くスタッフ

◇オクラ播種

5月にオクラの種を蒔きました。オクラはカンボジアの田舎ではあまり食べられてはいませんが、プノンペンでは外国人によく食べられています。去年同様今年もプノンペンの業者様から作付けの依頼があり、今年は去年よりも作付面積を増やし、オクラの出荷量を増やそうと考えています。今月種を蒔いたオクラは順調に生育すれば2~3週間後には畑に定植できる予定です。そして約1か月後に再び種を播き、オクラが継続して収穫、出荷が行えるよう準備します。次は畑に堆肥を撒いて、トラクターで耕し畑の準備を行う予定です。



二人がかりでロータリーの刃を交換しています

◇ロータリー刃交換

SAJFarmでは毎年作付を行う前にトラクターのロータリーの刃を交換します。1年間農場の土を耕し続けると、鉄製の刃が土や砂によってすり減ってしまい、刃の長さが半分以下になってしまいます。刃が短くなってしまうと、土に入らなくなってしまうため、畑を耕すことができなくなります。ロータリーには刃が54本ついており、農場ではそれをすべて手作業で交換します。一つ一つ刃についているネジを外し、壊れたネジは交換し新しい刃を取り付けます。作業中は安全に十分注意して、ロータリーが作業をしている人の上に落ちてこないよう支えを取り付けて作業を行います。



初めて刈払機を操作するティア君

◇圃場整備

5月雨が多くなってくると農場では雑草がどんどん生い茂ってきます。SAJFarmでは18歳以上になったスタッフに、トラクターや刈払機等の機械操作、管理方法を教えています。スタッフが他所で働くことになった時に、機械の操作を知っていた方が仕事を見つけやすいからです。6月に有機JAS検査があるため、それまでに農場の雑草を刈る必要があります。今回は訓練も兼ねて若いスタッフに初めて刈払機で除草してもらいました。最初は平坦で安全な場所から始め、徐々に坂になっている場所なども除草していきます。始めは緊張していたスタッフも最後は堂々とした姿で作業をしていました。



契約農家のトオンさん(左)と新規契約者のハイさん(右)

◇農家さん向け講習会

5月に契約農家のチャンダーさんの畑で講習会を開催しました。今回はチャンダーさんの畑でレモングラスを収穫し、選別作業を行いました。講習会にはもう一人のレモングラス契約農家のトオンさんとそのお孫さん、また今年から新しくレモングラスの契約栽培を始めるハイさんも参加しました。大きくなったレモングラスを全員で収穫し、シートの上に広げ雑草や枯れた葉を取り除きました。約1時間で作業は終わりその後参加者全員でバーベキューを行いました。講習会を通じて近隣の農家さんと交流を深め、お互い勉強し合える関係を築いていけたらと思います。



お茶用レモングラス

◇お茶用レモングラス出荷準備中

今年の4月、日本からSAJFarmへ乾燥レモングラス700kgの注文が入りました。納品予定は8月末です。昨年度は乾燥レモングラスの注文が少なかったことと、精油の生産に注力したため、製造したのはお土産用として販売するごくわずかだけでした。カンボジアから日本までの輸送は手続きまで含めると約1ヶ月かかります。8月に日本へ納品する場合、7月までに700kgの乾燥レモングラスを用意しなければなりません。長期間保管することや、海の上を運ぶため完全に乾燥する必要があり、ハウスで4日から1週間乾燥しています。雨季はハウスの外で乾燥することが難しいためです。今は精油を作る量を減らして乾燥レモングラスの製造に注力しています。